

英語の授業 (第2学年)

英語科目標：「積極的に自分の英語が話せるような態度・意欲の育成」

- GUESS & IMAGINE 推測、想像する力を養おう
- 英語は間違えることは当たり前です。話そうとする努力が大切です
- わからない時は周りの友達に聞こう (挙手する時も友達と確認し合って結構です)

【授業前】

- 前の授業が終わったらすぐに準備をして忘れ物がないか確認をして下さい。
- チャイム前には必ず着席して下さい。
- 授業前の1分間の集中力は貴重です。ターゲットインプット、便利表現集、THE QUESTIONS、教科書、等なんでもいいから声を出して練習して下さい。

【各レッスンのまとめ】

- 毎レッスン後、補充・深化の時間として3時間とります。
- 第1時； * Input Test ; ターゲットインプットの確認テスト→表現力(話す)を試す活動
* Output ; 新出文法を使っての自由作文→言語文化を定着させる活動
- 第2時； * Making Questions ; 教科書本文についての質問を作る活動。そしてその質問を使ってペア or グループで問題を出し合う。→理解力&表現力
- 第3時； * Picture Telling ; 教科書の内容を、絵を使って説明する活動。→表現力(話す)
- 第4時； * Theme Output ; テーマに合わせてまとめた英文を書く活動。→表現力(書く)
- 第5時； * 総復習 ; ウォーミングアップ、ワーク、ピックカード、便利表現集、フォニクス、ザクエスチオンズ →言語文化、理解力と表現力を確認する活動。
* What'S behind ; 様々な質問をし、その答え(ヒント)を元に正体を明らかにする →理解力(聞く)&表現力(話す)を試す活動
* Group Topic ; 4人グループで意見を出したり質問をしたりする →理解力(聞く)&表現力(話す力)を試す活動
- 第6時； * 単元テスト ; 各レッスンの文法&本文内容の確認テスト →理解力を試す活動
* ワーク・自己評価カード・ノート提出

【英語の用意】※どの教材も書き込むため、忘れても絶対に人から借りてはいけません。

- ①教科書
- ②予習ノート
- ③ファイル
- ④ワーク
- ⑤自己評価カード(いつも教科書にはさんでおこう)
- ⑥その他

【ノート】

- 3種類のノートを用意して下さい(大学ノートが望ましい)。
- ①予習ノート ; 教科書の本文、単語・意味・例文、基本文を書きます
・原則として偶数レッスンの単元テストの時に提出します
※ノートの内容に応じて評価します
(A: 20点、B: 10点、C: 5点)
 - ②間違い直しノート ; 定期テストの再テストの間違ったところを5回ずつ書きます。
・毎回期限を設定します
 - ③練習ノート ; 英語に関するものならなんでもこのノートに練習すれば平常点(びっしり2ページで1点プラス)
・いつでも提出OK

【自己評価カード】

- 文法や教科書を扱う場合は必ず授業後につけて下さい。まとめの時間にはつけません
- 自己評価カードは「自分がどれだけがんばってきたか」「次はもっとがんばるぞ」と意欲を高めるものです。毎回ありのままを記入して下さい。
- 授業態度 ; 3段階(◎○!)で評価します

- 授業理解 ; 3段階(◎○!)で評価します
- 想像推測 ; 3段階(◎○!)で評価します
- 挙手 ; 指名された数ではなく手を挙げた総数を記入します
- 努力した点 ; がんばったことを具体的に記入します(悪いことは書かないように)
- INPUT POINT ; ターゲットインプットの結果(5点満点)を記入します
- PICTURE TELLING ; 教科書の内容を絵を使って表現できたかを3段階で評価します
- INPUT TEST ; 毎レッスンやるインプットテストの結果(100点満点)を記入します
- GROUP TOPIC ; 毎レッスンやるGROUP TOPICの結果を記入します
- 集計** ; 各レッスンが終わるごとに集計(合計)して提出します

【提出物】

- ①ワーク ; 毎レッスンの単元テストの時に集めます。
- ②自己評価カード ; 毎レッスンの単元テストの時に集めます
- ③予習ノート ; 原則として偶数レッスンの単元テストの時に集めます。
- ④間違い直しノート ; 定期テスト後の再テスト後に集めます。

【忘れ物】

忘れ物に気づいたときは速やかに職員室の先生に報告して下さい

【英語科の成績の出し方】

スペコン、定期テスト(再テストも含む)、単元テスト、インプットテスト、アウトプット、自己評価カード(の一部)、練習帳、提出物、忘れ物、予習ノートの評価、等のあらゆる諸活動を総合して成績をつけています。

そのため、定期テストだけ点数をとれば良いというものではありません。

また、単元テスト、インプットテスト、アウトプット等の定期的な小テストは学期中にやったものの平均で評価していますので、そのときに欠席したとしても不利にならないように配慮しています。

提出物は1項目につき、「遅れた=-5」「かなり遅れた=-10」「未提出=-20」で計算しています

忘れ物は「忘れた回数-1ポイント」として計算しています

《観点別評価》

「コミュニケーション」; 授業でのコミュニケーション活動、定期テストのコミュニケーション問題、自己評価カード(の一部)、練習帳、提出物、忘れ物、等

「表現力」; インプットテスト、アウトプット、予習ノートの評価、定期テストの表現力問題、等

「理解力」; 単元テスト、定期テストの理解力問題、等

「言語や文化」; スペコン、定期テストの言語の文化問題、予習ノートの評価、等

○それぞれ原則として100点換算で70点以上が観点別評価に[A]がつきます

《評定》

- [1]; 100点換算評定合計が 0点未満 (-以下)
- [2]; 100点換算評定合計が 0点以上
- [3]; 100点換算評定合計が 30点以上
- [4]; 100点換算評定合計が 70点以上
- [5]; 100点換算評定合計が 90点以上

【最後に】

英語の授業では努力次第でいくらでも成績を上げることが出来ます。結果だけでなくなるべく努力を評価したいと思っています。一緒に1年間がんばりましょう。

- 提出物が完璧ならば全ての活動が0点でも評定「1」はつかない
- インプットテストやアウトプットは問題がわかっている
- 定期テストで失敗しても再テストで挽回できる
- 練習帳を出すだけでポイントが上がる
- スペリングコンテスト(学期に1回)の範囲表を1ヶ月以上前に配布している